

平成 29 年度 創邦 21 事業報告

1 会議の開催

(イ) 総会の開催

平成 29 年 7 月 21 日 午後 1 時 30 分より 定時総会開催 於 CAT オフィス

(ロ) 例会の開催

平成 29 年 5 月 10 日 13 時より	第 167 回例会	於 CAT オフィス
” 6 月 6 日 13 時より	第 168 回例会	於 CAT オフィス
” 7 月 21 日 14 時 30 分より	第 169 回例会	於 CAT オフィス
” 8 月 29 日 13 時 30 分より	第 170 回例会	於 CAT オフィス
” 10 月 3 日 10 時 30 分より	第 171 回例会	於 政太郎稽古場
” 11 月 7 日 17 時より	第 172 回例会	於 紫山会館
” 12 月 27 日 13 時より	第 173 回例会	於 CAT オフィス
平成 30 年 2 月 8 日 14 時より	第 174 回例会	於 CAT オフィス

2 作品演奏会の開催

第 15 回作品演奏会

主催：創邦 21

日時：平成 29 年 11 月 8 日（水）

18 時開場 18 時 30 分開演

場所：紀尾井小ホール(東京都千代田区)

平成 29 年度（第 72 回）文化庁芸術祭参加公演

制作協力：(株)シーエイティプロデュース

助成：芸術文化振興基金

アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）

公益財団法人 新日鉄住金文化財団

曲目：『鶴』（金子泰作詞／松永忠一郎・今藤政貴・福原徹作曲）

『心響』（今藤長龍郎作曲）

『賢治三篇～宮沢賢治文語詩稿より』（清元栄吉作曲／福原寛 笛作調）

『心月』（武政千子作詞／米川敏子作曲）※平成 29 年 3 月「紀尾井邦楽塾」

作品演奏会にて初演

『鶴ーやくそくー』（金子泰脚色／今藤美治郎作曲／藤舎貴生作調）

3 創立 20 周年記念として

①第 15 回作品演奏会公演プログラム冊子の巻末に、
政太郎「創作邦楽研究会とその時代」
公開講座「創作のキモ」の事業内容紹介
を掲載。

②web 上で公開していた同人インタビュー「創邦 11 面相」を冊子化し、15 回
演奏会にて来場者に配布。

4 公開講座の開催

第 8 回公開講座「創作のキモ」

主催：創邦 21

日時：平成 29 年 7 月 21 日（金）

18 時開場 18 時 30 分開始

場所：アコスタディオ

入場料：一般 2000 円、創作を志す方 1000 円、学割 1000 円、学生で創作を
志している方 500 円

内容：「パロディの技術と醍醐味」―道成寺ものを素材に―

「於鍋道成寺」

（郡司正勝 作／今藤政太郎 作曲） ……昭和 63 年（1988）初演

「京鹿子娘道成寺」

（初代杵屋弥三郎 作曲） ……宝暦 3 年（1753）初演

講師：今藤政太郎

ききて：今藤政貴

5 創邦 21 ホームページの運営

第 15 回演奏会に向けた創作活動・準備状況をトップページに順次掲載

アーカイブとして「公演記録」を更新

同人の執筆したエッセイ、レポート等の掲載

同人による同人インタビュー「創邦 11 面相」の連載

「きまぐれな今日の一曲」の随時更新

ブログの更新

6 公開講座「創作のキモ」準備

平成 30 年 5 月 18 日開催の第 9 回創作のキモへ向けての諸準備

7 「第 5 回全国邦楽合奏フェスティバル」参加準備

平成 30 年 8 月 31 日より 9 月 2 日まで洗足学園音楽大学にて行われる「第 5 回全国邦楽合奏フェスティバル」において

- ①作曲家 4 団体によるコンサート「夏の終わり」
- ②作曲家 4 団体によるシンポジウム「作曲からみた邦楽の未来」
- ③展示ブース

の参加・協力への準備。

8 同人の退会

平成 29 年度末をもって、谷川恵同人が退会。

【総括】

1 平成 29 年 7 月 21 日に定時総会、また同年 5 月 10 日の第 167 回から翌 30 年 2 月 8 日の第 174 回まで計 8 回の例会を行った。

例会では、167 回から 172 回は主に第 15 回作品演奏会について、173 回以降は第 9 回創作のキモと、30 年 8 月・9 月の「第 5 回 全国合奏フェスティバル」参加に関しての話し合いがなされた。171 回例会においては、本会に向けての試演会も併せて開催した。173 回に第 15 回演奏会の反省と総括を行い、次回演奏会は 2019 年 5 月 22 日と決定した。

2 平成 29 年 11 月 8 日に紀尾井小ホールにて、創邦 21 第 15 回作品演奏会を開催した。公演は前回の反省が企画の起点になることが多いが、当 15 回作品演奏会も前年の 14 回の反省点、すなわち

- ・曲数を 5 番くらいにとどめ、それぞれの曲が十分に表現・演奏できるようにする。
- ・同人以外の詞章による作品も積極的に取り上げていく。
- ・集客について積極的に策を講じる。

などを念頭に置いて企画・運営された。

まず会の構成・番組立てについては、余裕をもって 5 番立てとした。また、私たち創邦 21 の正味の音楽を聴いていただきたいという気持ちが同人内に強く、編成も曲自体もあまり大きくない作品が集まった。

したがって演奏会としてはやや内向きになってしまったことは否めないし、やむを得な

い。

しかしながら、「心響」や「賢治三篇」では若い世代の演奏家と共演し、また紀尾井邦楽塾生武政氏作詞の「心月」を演奏したことは、次世代に創作への取り組みと演奏を伝え、別の場所で今現在邦楽の創作を志している人たちとも連帯する、縦方向・横方向へ創邦 21 の創作活動が繋がる機会であった。

今回はご招待客が多くお越しくくださった。邦楽界の中のみならず外へ、むしろ外へアピールをしていくべきと考える。引き続き努力が必要である。

全体的に、派手さはないが実のある会、同人個々や団体の現在の足下を見つめ、明日に繋がる会であったのではないか。

3 平成 29 年に創邦 21 が設立 20 周年を迎えたことから、第 15 回作品演奏会の公演プログラム冊子の巻末に「創作邦楽研究会とその時代」、演奏会と並ぶ公開活動である「創作のキモ」の紹介など特別編集部分を付けた。前者は、とくに戦後から今日に至る邦楽創作活動の流れを、その真っただ中にいた今藤政太郎が記したもので、今残すべき貴重な証言であると思う。また、数年前より WEB 上で連載していた同人による同人インタビュー「創邦 11 面相」も活字化し冊子にまとめて当日配布したところ、たいへんにご好評をいただき、会の後の問合せもあった。同人個々のインタビュー集であるが、それにとどまらず創作へのさまざまなアプローチ集として読まれ使われることを期待している。

4 創邦 21 ホームページを継続的に運営した。第 15 回演奏会の告知をトップページに掲載し、それにブログも活用して内容を紹介した。演奏会後には公演記録を掲載しアーカイブとして、また同人執筆のレポートは記録としても読み物としても、ホームページを充実させた。平成 27 年 1 月より始まった同人による同人インタビュー「創邦 11 面相」の連載は完結した。また同じく「ヨミモノ」内ではレポート 1 本が掲載された。ブログも毎月 2 回程度更新し、計 21 本掲載。同人の活動、同人の生の言葉を発信することに努めた。

5 公開講座「創作のキモ」は、今回はこれまでにない満員の盛況をみせた。前回で同人が主に自作を語る形式で一巡し終えたことから、これまでの講師二人での二部制を改めて、一人が話す形式にした。取り上げたのが創作曲「於鍋道成寺」とそのネタ元である古典曲「京鹿子娘道成寺」であったので、興味を持つ方が多かったのだろう。何らかの形で古典曲も取り上げると、話をしやすいし聞きやすいようである。今回の経験を今後に生かし、「創作のキモ」第二クールを展開させていきたい。

6 平成 30 年度中には作品演奏会を行わないので、代わりに公開講座「創作のキモ」を二回開くこととした。それゆえ例年よりやや早い 5 月に第 9 回を開催することになり、準備を進めている。

7 第5回全国邦楽合奏フェスティバルへの参加を決めた。合同コンサート「夏の終わり」には、自由曲として米川敏子の「天泣」を出品し、「夏の終わり」という共通テーマで作る課題曲は金子泰が歌詞を書き今藤長龍郎が作曲することとなった。

8 今年度末をもって、文芸部・谷川恵氏が退会された。

以上